

(1) 調査の概要

移動に関する課題やニーズ等を把握するため、また新型コロナウイルス感染症や2024年問題など、昨今の公共交通をとりまく新しい状況を受けて、事業者としての課題や事業者の取組等についても把握するため、交通事業者へヒアリングを行いました。

ヒアリング先交通事業者

- ・ **鉄道** : 西日本旅客鉄道(株)
- ・ **路線バス** : 防長交通(株)
J Rバス中国(株)
- ・ **タクシー** : 山口県タクシー協会防府支部
(株)エス・ディー・エスチャレンジャー
キリン交通(株)
- ・ **航路** : (有)野島海運

1.鉄道

①利用者について

- ・朝・夕は通勤、通学者が多く、日中は比較的高齢の方が多い。
- ・時間帯については、平日の7:30～8:30及び16:00～19:00に集中。
- ・利用者数は、コロナ前（2019年）と同程度まで回復。
対前年では110%程度

②運転士不足について

- ・コロナ禍での人材不足はあったが、現在は大きな不足はない。
- ・運転士養成は適宜実施。

③その他の課題

- ・非対面での券売方式
高齢化も伴い機械に不慣れな方が多いが、駅員が常駐していないため案内等の対応ができていない時間帯がある。
- ・車イス利用者等の対応
列車乗降時にサポートの必要な方が乗車する場合、新山口駅から派遣しているが、連絡が直前の場合は対応できないこともある。

2.路線バス

①利用者について

- ・令和6年度に入りコロナ禍前とかなり近い水準程度まで回復している傾向にある（収支ベース）。
- ・通勤・通学利用（全体の6～7割）：6～7時台、17時台が多い
- ・通院・買物等利用（全体の3割）：8～9時台、11～13時台が多い

②運転士不足について

- ・必要に応じて、減便や他営業所へのダイヤ移行等により仕業数を減らし路線の維持を行っているが、運転士不足は解消されていない。
- ・40歳代～50歳代が中心。事業者によっては、60歳代以上も多く活躍。
- ・事業者によっては、有料求人・転職サイトや賃金面の見直し、大型2種免許の取得費用や入社支度金などを設ける等の取組を実施。

③その他

- ・遅れることが多いとの声がある停留所については、停留所間の時刻の見直し等を実施。
- ・同一経路を運行するバス事業者間でのダイヤ調整を未実施のため、ほぼ同時刻に運行する例が発生している。

事業者ヒアリング調査結果

3. タクシー

①利用者について

- ・ 午前：高齢者（通院）、土日は自衛隊員
- ・ 午後：閑散時間あり
- ・ 夜間：駅・飲食店からの帰宅客、夜間急患など
- ・ 時間帯によってはタクシーが不足している状況が見受けられる。

②運転士不足について

- ・ 事業者により不足の程度はまちまち。運転士不足のある事業者は稼働率も悪化し、売上にも影響。
- ・ 運転士の高齢化は進んでいる。

③その他

- ・ 燃料費や人件費の高騰、2024年問題等を受けた経営状況の困窮

4.航路

①利用者について

- ・ 島民の生活航路としての役割が大きいためコロナ前後での大きな変化はないが、野島周辺での漁獲資源の変動・減少の影響により、釣り客の利用が減少したままとなっている。
- ・ 始発便・最終便の利用は少なく、日中の利用は平均的。

②運転士不足について

- ・ すべての職種で40歳以上、どの職種も世代交代の時期となっている。
- ・ 海運業界全体が船員不足のため、定年延長（65歳まで）で現職員の継続勤務につなげる他、処遇改善を行い欠員補充・職員募集を随時実施。

③その他

- ・ 利用者の乗継の利便性が損なわれないよう、可能な範囲で路線バスとの乗継ダイヤ調整の実施を希望。